

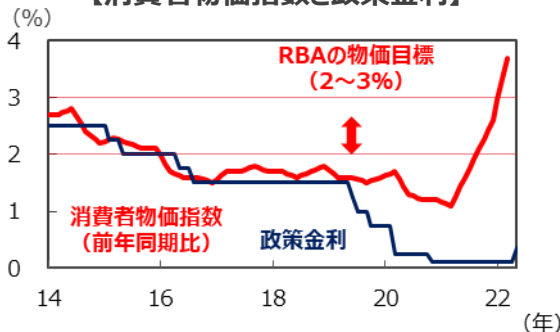
今日のトピック 市場予想を上回る利上げを実施したRBA

今後も継続的な利上げが見込まれる
**ポイント1 RBAは市場予想を上回る
0.25%の利上げを実施**

- 5月3日、豪州準備銀行（RBA）は金融政策決定会合で、政策金利である翌日物金利の目標を0.1%から0.35%へと引き上げました。利上げ幅は、事前の市場予想の0.15%を上回る0.25%となりました。
- RBAは声明文で、豪州経済は回復力を示しており、予想を上回るインフレ率の急速な上昇や、賃金の伸びの回復が確認されていることから、金融政策の正常化プロセスを開始することが適切である、と述べています。

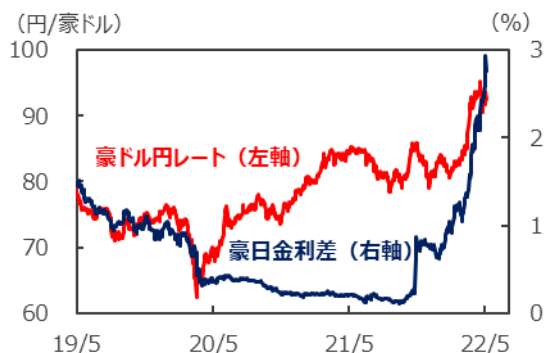
**ポイント2 良好な雇用環境と、インフレ率
の急速な上昇が利上げの要因**

- 4月14日に発表された豪州の3月の失業率は4.0%でした。RBAの中心的な予測では、失業率は2023年初までに3.5%まで低下し、過去50年間で最も低水準となることが予想されています。
- 4月27日に発表された豪州の1-3月期の消費者物価指数（CPI）は前年同期比+5.1%、基調的な動きを示すトリム平均値では同+3.7%となりました。いずれもRBAが物価目標とする同+2~3%のレンジの上限を大きく上回っています。

【消費者物価指数と政策金利】


(注) 消費者物価指数は2014年1-3月期～2022年1-3月期。変動の大きい項目を除外したトリム平均値。政策金利は2014年1月～2022年5月。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【豪ドル円レートと豪日金利差】


(注) データは2019年5月1日～2022年5月5日。豪日金利差は2年国債利回りの差。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 継続的な利上げが見込まれる

- 前回会合の議事要旨で利上げの前倒しが示唆されていたことや、1-3月期のCPIが市場予想を上回る上昇となったことなどから、今会合での利上げが予想されていました。ただし、利上げ幅が市場予想を上回ったことから、今会合後の豪ドルの対円レートは豪ドル高・円安となりました。
- 今後も堅調な経済成長と失業率の改善が見込まれていることに加え、ウクライナ情勢などから資源価格の高止まりが続くと見られる為、インフレ率も高い水準で推移すると見込まれます。RBAは金融政策の正常化プロセスを開始すると述べていることから、今後も中立的な金利水準に向けて継続的な利上げが見込まれます。

ここもチェック! 2022年4月28日 **どこまで進む？円安ドル高 通貨防衛という「無理ゲー」に直面する政府・日銀**
2022年4月22日 **2022年5月の注目イベント**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。